



荒川中
だより

青い雲

村上市立荒川中学校
平成28年度 第13号
平成29年 2月 1日発行
Tel 0254-62-3251



教育目標：「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」

目指す学校像：「勢いとハートのある学校」(ハート=熱いハート、温かいハート、柔軟なハート)

☆ もうすぐ節分

日本には、一年の間にいろいろな行事や祭事、催し物などが行われています。全国共通して行われるものや、各地域で独自に行われるものなど、それは様々です。それぞれ行われる理由や意味、歴史などを家族と話し合いながら、伝統・文化の継承を図るとともに、その行事を楽しんで欲しいと思います。私も「新潟県妖怪研究所」の会員になってから、いろんな行事の歴史や関係する人物などを調べることが好きになりました。

今回は、節分と鬼について紹介します。

○節分とは？

日本という国は四季のある国で、人々は自然に感謝しながら生活しています。春（立春）を迎えるということは、新年を迎えるにも等しいぐらい大切な節目でありました。なぜなら、春は、生きていくための食べ物になる苗を植えたり、種をまいたりする時期だからです。

立春は2月4日。この立春は、冬から春への季節の変わり目で、特に化け物（鬼）が入りやすい時期ということから、立春の前日の日（2月3日）に、新しい年を迎える前に化け物を追い払って福を呼び込む行事がありました。

○豆まきについて



じやき

邪気（化け物：鬼）を追い払う儀式「豆打ち」が「豆まき」になった。



○鬼について

鬼という字「おに」と読みますが「おに」という日本語は「陰（おん）」に由来します。「陰」とは目に見えない気、主として邪気のことをさし、それが「鬼」のこと。隠れている怖いものとして「陰人（おんにん）」が変化したという説。形の見えない災害、病、飢饉など人間の想像力を超えた恐ろしい出来事は、鬼の仕業と考えられていました。

しゅてんどうじ

イケメン 酒呑童子（鬼の大将）は、新潟の分水町出身。国上寺に勤め、絶世の美少年だったことから、村の娘たちは、イケメン酒呑童子を見るために集まり、恋文（ラブレター）を渡します。その数は約1万を越えました。彼はその恋文を読みもせず、箱に入れておいたところ、女性の恨みの炎が箱から噴き出て、酒呑童子はその炎に顔を焼かれ、鬼になったそうです。そして、京都の大江山へ行き、そこで暮らします。

悪の権化として源頼光にだまし討ちにあい、討たれた鬼です。

※新潟妖怪研究所「新潟の妖怪」から引用させていただきました。



○なぜ豆を使うのか？

炒った大豆を使います。(射る)

大豆は、五穀の1つとして穀霊（神様）が宿る穀物。穀霊で悪霊を払うのに最適です。

魔の目（魔目＝まめ）に豆をぶつけて魔を滅ぼします。(魔滅)

※落花生を使う地域もありますがこれは地面に落ちても汚れないからです。

〇いくつ食べるか

自分の年齢より1つ多く食べると、体が丈夫になり風邪を引かないと言われています。

☆表彰

〇歴史能力検定【12月2日】

準3級 日本史 石井 康貴(3-3)

4級 歴史基本 室本 千空(2-1)

5級 歴史入門 渡部 偉 (1-3)

〇第42回荒川地区卓球大会【1月14日】

中学生男子の部

第1位 齋藤 嶺 (2-1)

第2位 佐藤 恭祐(2-1)

第3位 志村 怜威(2-2)

第3位 小池 泰輝(2-1)

女子団体 第3位 荒川中 A

中学生女子の部

第1位 本間 莉沙(2-1)

第2位 小熊 莉侑(2-2)

第3位 高橋 芹菜(1-3)

〇第2回下越支部レディースリーグバドミントン大会 リーグB 【1月19日】

リーグB 第2位 荒川中学校 a

リーグD 第2位 荒川中学校 b

〇第18回下越支部水野杯中学生バドミントン大会

新人女子シングルス

【1月21日】

第1位 大嶋 夕稀(1-2)

第3位 斎藤 愛奈(1-1)

〇第50回市民インテリテニス大会 【1月22日】

中学生男子の部

第3位 新野勇人(1-2)・山田莉久(1-2)ペア

中学生女子の部

入賞 遠藤瑞穂(1-2)・真保明音(1-3)ペア

入賞 新野菜々美(2-3)・磯部 栞(2-1)ペア

※時間切れで準決・決勝行えずベスト4まで

☆ ちょっといい話

1月5日、私の所に地域の方から電話がありました。「中学生の親切に感謝」という内容でした。

12月28日(金)、東京から帰省する娘が18:00坂町駅着なのに、なかなか帰ってこないで心配していたところ、やっと帰ってきました。着くとすぐ、遅くなった理由と、緑のジャージを着た荒川中学校男子生徒3人の「親切な行動」について話をされたそうです。

娘さんがタクシーに乗り実家に向っていたところ、総体前の米坂線踏切で遮断機が下り、ずっと待たされていたそうです。そこに、緑のジャージの男子生徒3人が通りかかり、タクシーの窓を「コンコン」とノックし、「この踏切は故障しているので他の道に行った方がいいですよ」と教えてくれたそうです。タクシーは、迂回して目的地の実家に着くことができました。

時々、総体前の踏切の遮断機が故障することを知っていた中学生。知らんぷりしていく人もいるでしょうが、笑顔で親切な対応をしてくれた男子中学生に、娘さんはとても感心したようです。「こんな良い子に育てている中学校は、きっと素晴らしい学校でしょうね」と同じ教育関係の仕事をしている娘さんがそう言ったそうです。

とても気分が良かったので電話したとのことでした。

☆お詫び

学校評価保護者アンケートで私の発言に対するご指摘をいただきました。青雲祭合唱コンクールの表彰で3年生に最優秀賞を渡すとき「よく分かりませんが」という発言をして渡したことについてです。

3年生の合唱はどのクラスも素晴らしく、全てのクラスに最優秀賞をあげたい思いでしたが、1つに決めなければなりませんでした。長時間にわたる審査の結果で最優秀賞が決定しました。音楽や合唱の専門家ではない私なので、その僅差についてはよく分からないのが現状でした。だから、あの時の発言は「私は音楽の専門家ではないので、僅差についてはよく分かりません」と言うべきだったのです。「言葉足らず」で不快な思いをさせたことに心からお詫び申し上げます。